

サイバーセキュリティタスクフォースの今後の進め方

令和4年12月

サイバーセキュリティタスクフォース事務局

目的

- サイバー空間があらゆる主体が利用する公共空間となり、デジタル化を支える情報通信ネットワークは、今や国民生活や経済活動の重要かつ不可欠な基盤となっている中、サイバー攻撃により情報通信ネットワークの機能に支障が生じた場合には、社会・経済に多大な影響を及ぼすおそれがあり、その安全性・信頼性の確保は喫緊の課題。
- 本年8月にとりまとめられた「ICTサイバーセキュリティ総合対策2022」を踏まえ、依然としてIoT機器を狙ったサイバー攻撃が多く発生している状況等に対応するため、NOTICEや「電気通信事業者による積極的なサイバーセキュリティ対策に関する総合実証」等の取組みを含めた情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティ対策について検討を行うことを目的として、「サイバーセキュリティタスクフォース」の下に分科会を設置。

主な検討事項

- IoTにおけるサイバーセキュリティの確保に向けた取組（NOTICE等）の現状と課題
- 情報通信ネットワークにおけるサイバーセキュリティ対策の現状と課題（総合実証の検討等）
- 上記課題の解決に向けた必要な方策

構成員(案)

後藤 厚宏	情報セキュリティ大学院大学 学長	井上 大介	NICTサイバーセキュリティ研究所 サイバーセキュリティネクサス長
河村 真紀子	主婦連合会 会長	小塚 荘一郎	学習院大学法学部 教授
小山 寛	(一社)ICT-ISAC ステアリング・コミティ運営委員長 NTTコミュニケーションズ(株) 情報セキュリティ部長	齋藤 衛	(株)インターネットイニシアティブ セキュリティ本部長
田中 暁	KDDI(株) 情報セキュリティ本部 セキュリティ管理部長	辻 伸弘	S Bテクノロジー(株) プリンシパルセキュリティリサーチャー
藤本 正代	情報セキュリティ大学院大学 教授 (オブザーバ) N I S C、経産省	吉岡 克成	横浜国立大学大学院環境情報研究院 准教授

スケジュール

令和4年12月	タスクフォースを再開し、分科会設置を決定
5年 1月	第1回分科会(以降月1回程度のペースで開催)
令和5年夏	とりまとめ

サイバーセキュリティタスクフォースの今後のスケジュール(案)

